

議事録

審議会等名	第2回 つくばみらい市の幼児教育のあり方検討委員会
開催日	令和元年12月23日（月曜日）
開催場所	つくばみらい市伊奈公民館 1階会議室
出席者	出席委員 石塚眞典委員長，石塚武彦副委員長，直井正芳委員， 藤森洋子委員，久下留美子委員，野口勝利委員， 川又朋子委員，小倉みどり委員，平塚久美子委員 以上9名 欠席委員 花田裕子委員 1名 事務局 学校総務課 鈴木課長，大澤課長補佐（進行）， 長岡主査，鈴木主事 (株)青山建築設計事務所 高橋 一三，小松 由樹子
会議次第	1 開 会 2 委員長あいさつ 3 議 題 （1）幼稚園に関するアンケート集計結果報告 （2）公立幼稚園に求めるもの 委員による意見交換 （3）今後のスケジュール 4 そ の 他 5 閉 会
議事概要	1 開会 午前10時00分 2 委員長あいさつ 石塚眞典委員長 3 議題 （1）幼稚園に関するアンケート集計結果報告 事務局より説明 （2）公立幼稚園に求めるもの 委員による意見交換 【各意見】 委員 認定こども園に通っている。入園当初，公立幼稚園と迷っていたが，まだ無償化という話がまったく出ていない時で，金銭的負担を考え，はじめは，公立幼稚園ひと筋で考えていた。しかし，やっぱり仕事をしたという思いもあり，公立幼稚園と比べ，認定こども園は金額が倍くらいなので悩んだが，こども園も内容が良く，預かり保育が一番の魅力だった。 仕事をするとしてもパートだが，やっぱり働いた方がいいんじゃないかと思い，こども園に入れた。実際，最近，働き始めて，延長で預かってもらいとても助かっている。 アンケート結果に，わかき幼稚園は園庭が広くて，のびのびとしているとあったが，私も見学に行ったらと

	<p>きにすごく良いと思った。ただ、公立幼稚園が選ばれる理由を考えたが、定員割れしている状態で、いいところが見当たらない。これからも公立幼稚園を残すべきならば、公立ならではのイベントを計画し、説明会などでアピールしないとなかなか集まらないと思う。</p> <p>ただし、現在、公立幼稚園に通わせている人の中には、仕事をしたい人ばかりではなく、保育所に入りたいとは思っていない人も多いと思う。</p> <p>うちは、下の子が幼稚園部で通っているが、働いているので本当は保育所に入りたいけど入れない。同じような潜在的な待機児童というのが結構いると思う。</p> <p>資料にあるように、保育時間の延長を公立幼稚園でもやれば、私みたいな人も公立幼稚園に預けようかなと思えるようになる。</p> <p>委員 まず、初めに確認したいが、このあり方検討委員会では、どこまでを求められているのか。思いついたこと・感じていることを話すだけでいいのか、それとも何か議論しなければならないことがあるのか。</p> <p>事務局 この検討委員会は、委員のみなさんから公立幼稚園に対する意見を広く聞き、市が今後、そのあり方を決めていく上での参考意見としたいと考えている。</p> <p>委員 うちは（公立）幼稚園に子どもを2人通わせ、現在、下の子が年長にいる。わかくさ幼稚園を選んだ理由は、できるだけ小学校にあがる前は子どもと一緒に居たいという気持ちが強かったため。</p> <p> 実際に入れてみてすごく良かったと思うが、やっぱり働きたい、帰りの時間が早いという声も聞くので、延長とかは考えていった方がいいと思う。</p> <p> ただ、幼保一体にしているような谷和原幼稚園とかは、保育所側と幼稚園側が同じ園舎でやっていると思うが、それならではの問題も聞く。保育園側がこうだから、幼稚園側も合わせなければならないとか、保育園の先生と幼稚園の先生で隔たりがある等といった声も保護者の中にはあるようなので、そういう声も聞いた上で、検討してはどうか。</p> <p>委員長 谷和原幼稚園の話が出たが、私も以前、谷和原幼稚園に園長としていたが、委員からあったようなことは、当時は、私はあまり感じなかった。</p> <p>委員 すみれ幼稚園の園長です。今までの意見を聞き、公立幼稚園の良さを完全にはアピールできていないと反省した。自身、小・中学校の教員も経験したが、幼稚園は、小・中学校よりもいろんなことをやっていると実感している。ただ、その取り組みがうまく伝わって</p>
--	--

いないみたいなので、情報の発信等をうまくやらないといけないと反省した。

また、市ならではの公立幼稚園の取り組みについてだが、幼稚園も小学校の学習指導要領と同じように文科省の方でこういう指導をなささい、保育をなささいと決められている。私立幼稚園では、その中の一つだけ、スポーツや音楽にものすごく力を入れてやっているところがあるかと思うが、公立ではなかなかそこまで特化できない。いろんなことを満遍なくやらなければならないし、それは裏を返せば公立の良さだと思っている。そういうところもうまく伝えられればと思った。

委員

富士見ヶ丘認定こども園です。

当園は、開園して6年目、保育園は43年前から始めている。働いている保育士、幼稚園教員のどちらも、幼稚園教諭と保育士免許を持っており、保育所・幼稚園のそれぞれのメリットを考え、認定こども園となった。

当園では、朝から3時の帰りまで、幼稚園の子も保育園の子も一緒に生活している。

やはり、少子化によって、つくばみらい市だけでなく、茨城県内、全国各地で公立幼稚園のあり方が問われていると思う。

全国的に、つくばみらい市もだが、待機児童がある場所と待機児童がない場所との地域差が極端になっており、すべての子ども達に充実した保育を提供するためには、公立幼稚園の存在意義は有ると思っている。

ただ、定員割れの状況での運営は、民間・公立関係なく非常に厳しい。統廃合自体を悪く捉えず、より良い保育のため、経験のある職員の集約のため、送迎バスがある等、充実できる場所があると思う。公立だけでなく民間にとっても同じ問題。

やはり、民間・公立関係なく、自宅に近い場所というのは、選ばれる条件となってくると思うが、選ばれる園であるためには、少し自宅から遠くてもこの園に通いたいという魅力が必要。

母子・父子家庭も増え、働く女性も多いので、長い時間預けられる場所に対するニーズは増えてきていると思う。

そうしたニーズに応えながらも、家庭時間の確保など、それぞれの園の大事にしている部分を打ち出した上で選ばれるというのが、すごく大事だと思っている、それを踏まえると、どの自治体でも公立幼稚園・公立保育所の必要性は有ると感じている。

当法人の場合、市外でも施設を運営しているため、運営上とか財政の問題で公立園を全て廃止した市町村、これから公立を全て無くす方向で動いている市町村があるのを知っているが、個人的には、公立のある

べき姿は確かにあると思うし、公立園に対するニーズも保護者・地域にはあると思う。つくばみらい市にとっては、公立と民間とのバランスをとって運営していくことが一番大事だと思う。

幼稚園に通う隠れ待機児童も、正直、多い。茨城県北の方では、民間でも公立でも、幼稚園の人数はかなり減っている状況。県北の場合、通勤で片道30～40分や1時間は当たり前の中で、幼稚園時間内に仕事が終わっても、お迎えに間に合わないという方もすごく多く、どちらかという保育園もしくは認定こども園のニーズが非常に高くなっている。

ただ、つくばみらい市では、まだまだ幼稚園を必要とする家庭が非常に多いと感じる。パートないしお仕事を短時間しながら、幼稚園という形に預けたい、預かり保育を利用して預けたいという保護者も増えているので、当園のような認定こども園で預かり保育をやっている施設や、公立幼稚園の預かり保育は必要になってくるのかなと非常に感じている。

幼稚園にしても保育所にしても、お母さん、お父さんとなるべく一緒に過ごしてほしいというのももちろんあるが、いま子育て・教育にかかる金銭的な負担は、私の幼少期よりも、だいぶ増えている。

子育てにお金が多くかかる中で、子ども達が寂しくないように、かつ、集団の中でたくさんの方が学べる場所をしっかりと提供することは非常に大事だと思っているので、公立幼稚園のあり方は、まだまだ深く掘れることもある。

民間利用からみると、つくばみらい市は、つくば市と守谷市という大きな市の間にあり、市外の民間の園バスがたくさん通っている場所だが、せっかくなので、市内に住む人には、公立・民間関係なく市内に良い園がたくさんできれば、市内の園を利用してもらえる環境が良いと思うし、そのような園づくりを目指していければと思う。

今いる先生たちの中で少しずつ出来ることをとると、難しいかもしれないが、延長保育は必要だと感じる。

これまでは、選ばれる理由が金銭的負担の少なさだったが、無償化になり、保護者の負担がどの園も平等に無くなった以上は、保育内容・授業内容の充実の必要性は否めないと感じている。

委員

保育の延長というのは周りでもよく聞いている。子どもが年少のときは保護者も初めてで不安があるが、年中になって慣れてきて時間ができたから働こうと思うが、やっぱり帰りの時間が早いので、そこまで働けないという声を聞く。保育所に問い合わせても待機児童になってしまうので、公立幼稚園で延長保育ができ

たらありがたいというのはみんな思っている。

うちは、(公立)幼稚園に通っている。いま上の子が年長で、2歳のときに発達障害がわかり、正直、幼稚園に通わせるのも悩んだが、一番近い幼稚園が(公立)幼稚園で、入園する前から先生方と面談等をして、すごく快く受け入れてくれた。先生方はとても理解があり、特別に発達障害の教室があるわけではなく、同じように接してくれ、普通の子たちと同じように接してくれ、一緒に生活できる環境で、本当にありがたい。幼稚園での様子を聞き、子どもの成長を感じている。このような先生たちのノウハウも公立の幼稚園に活かしてもらえると、私みたいな子どもを持つお母さんも、安心して公立の幼稚園に通わせることができると思う。

委員 私は会社に勤めていて、なかなか幼稚園の現状問題とかいい意見が言えないのですが。

うちは(公立)幼稚園ですが、選んだ理由は、金銭的なこと、自宅から近いこと、妻の知り合いが多いということだった。

園の問題を聞く機会は、PTAの役員会やバス停の待ち時間くらいしかないが、その中でも多いのは、延長保育をしてほしいという意見。うちもいま年長と年少と8カ月の子がいるが、妻も仕事をしたいので、預けたい。

もう一つあったのは、イベント。園長先生がザ・体育会系のとてもいい人で、改めて、入れてよかったと思うが、市ならではのイベントごとをもっと増やしてほしいという意見もやはり多い。

委員 サポートが必要な子どもの割合が増えたという実感はある。年少では、先生が3人くらい付いていたが、足りていない。クラスから抜け出してしまう子どももいて、完全に誰かが付かないといけない状況で、お母さんがほとんど毎日付き添う子もいる。それをデメリットとして見る人もいると思うが、私は、それでいるんな子がいるってことを子どもが肌で感じられたというのは、とても良いと思っている。

最近、いろいろ言う人もいて差別や偏見も生まれるけれども、子どもたちが、特別なケアの必要な子がいることが当たり前のように普段の生活の中で感じることで、差別や偏見の気持ちを持たず、ひとつの個性として受け入れていて、あの子が前はこうだったけど、今はここまでできるようになったよっていう様子を、私たちは子どもから聞くことができる。子ども達が他人のことながら喜び、伝えてくれるっていう環境が私には魅力に感じている。それを公立の良さとしてアピールできるポイントになるかはわからないが、それが

凄く良かった。

支えてあげなきゃいけない子が多いクラスだと他のクラスよりも差が出たりする。例えばリレーだとダントツで3位になってしまう。いろいろあるが、ただそれを子ども達自身が自分達ならではで頑張っていて、ここまでできたという達成感を味わえているというのがすごく良かったと思うので、それは一つのメリットかなと感じている。

親が子どもに求めるものは違うと思うが、子ども達と触れ合いたっていのを求めている親にとっては、入れてみて、こんなに公立幼稚園はやってくれるっていう声もよく聞いている。

うちは、(公立)幼稚園だが、イベントは、3園交流や、中学校訪問のほか、季節ごとのイベントもあり、公立でもこんなにあるんだと思っている。たぶん、当たり前前にやっているからこそ、発信できないのかなと思う。ブログもすごく充実してきた。

私立と比べ、アピールポイントを見つけるのは難しいかもしれないが、少なくとも幼稚園として、もちろん教育という部分も含めて、保育園との違いはアピールできると思うので、そのひとつがいろんな子がいる中で学べることだと思う。

副委員長 私は富士見ヶ丘小学校の校長をやっている。小学校の立場から言うと、来年、小学校の学習指導要領が変わる。新しい内容の中には、保幼小連携と強く出ている。保幼小連携というのは、保育園・幼稚園と小学校の連携をしていこうという教育で、発達障害の子たちも一緒に、多様性の中でみんなで教育していこうということがとても大きく出ている。

今、幼稚園・保育園・認定こども園でもそういうような教育が進んでいるととても感じた。小学校でもいわゆる、小1プロブレムと言って、1年生で入ってきたときに、もう一回、母子分離できないような様子が見られたり、また、3・4年生くらいになってから、それが戻ってきたり、子ども達の様子が以前と比べて変わってきた。多様な性格の子ども達が増えてきているというのもすごく感じており、それも踏まえて保幼小の連携を進めている。うちの学校の場合、3月に26幼稚園・保育園が来て、引き継ぎをしている。

公立幼稚園は教育内容の3つの大きな柱を掲げているが、アンケート結果にあるように、教育内容的なものが求められているのは感じているので、公立幼稚園の良さは、教育内容のバランスではないか。

また、つくばみらい市では、幼稚園・小学校・中学校・保育園がつながって子育て・教育を進めているのも良さである。これまでも小中連携をしてきているが、保幼小連携ということで教育委員会でも幼稚園をまわ

り、指導・助言を行っている。こうした連携を取っているのも良いところだと思っている。

委員長 アンケート結果を受けての、事務局の考えはどうか。

事務局 公立幼稚園の今後の役割と、あと整備案についての2点について。

公立幼稚園の今後の役割については、市としましては現在の民間の保育所、認定こども園、私立幼稚園が多くある中で、少子化で公立・私立が大変な中、民間の経営を妨げたり、圧迫することがあってはならないと認識している。

国では、認定こども園の施設整備に補助を付けるなど、積極的に整備を進めている中で、市では民間の手が届きにくいところを補っていくという考えがある。

また、小学校の特別支援学級の児童数の増加、療育相談件数の増加からもわかるとおり、特別なケアが必要な子どもは増えている状況がある。こうした子どもたちは民間では受け入れられにくいという現状もあり、こうした子どもをもつ保護者が安心して、子どもを預け、集団生活の中でのびのびと成長していけるような環境を確保することも市の役割だと認識している。

保護者のアンケート結果の中には幼稚園に求めるものに、幼児教育の充実を求める回答が多く目立ったが、昨今の人材不足により、現在の保育の質を維持しつつ、特別なケアが必要なお子さんも受け入れる場合、現在の規模での通常の運営は非常に厳しいと感じている。

整備案については、市内ではみらい平地区での人口増加と既存地区での人口減少の二極化が進んでおり、今後の園児数は全体として減少すると見込んでいる。少子化の影響、無償化の影響で、来年度の新入園児は定員割れしている。また、市の財政状況を考慮すれば、老朽化しているわかくさ幼稚園・すみれ幼稚園については、小学校跡地への4～5年の移転を目途に、現在と同じ規模の幼稚園を整備していく、例えば、改修や新しく建て直す場合は、現在の3園体制を、伊奈地区に1園、例えば、わかくさ幼稚園とすみれ幼稚園を統合し、規模を縮小するとか、谷和原地区に1園、現在の谷和原幼稚園を維持もしくは縮小するなどに整備し直すことや、無償化に伴い民間に流れていることが予想されていることもあり、1園分を民間に移行することも視野に入れ、検討していきたいと考えている。

委員 これまでは公立と私立の金銭的負担の違いが選ばれる理由の違いになっていたが、無償化になり、実費が生じる給食費やバス代等は、どこでも同じようにかか

っている。金銭的負担が生じるとしたら、入園料。公立は入園料が無いと思うので。

また、公立から私立に転園した保護者に理由を聞くと、預かり保育がないとか来園時間が少ないということだった。

安倍政権のこの子育て支援政策は、子育て支援というよりも就労支援だということもあり、今、世の中はなるべく預けて働けという流れになっていて、現場にいる私達は、その制度を把握しながら、子ども達の方を向いてないとおかしいことになるという危機感を感じている。ただ預ければ良いということではなく、3歳以上の教育機関（期間）である以上、小学校との接続も随分、議論されているが、この時期の子ども達の姿をちゃんと把握して、それなりの成長の助言をしないといけない機関（期間）である。その役割が全うできれば、公立でも私立でもいいと思う。

当園は守谷とつくばみらいの境界にあり、谷和原幼稚園の区域はうちの通園区域でもあるが、伊奈地区から入園希望者も増えていて、遠く、バスも行けないにも関わらず、教育方針、園の理念を理解した上で、希望される。

公立でその教育理念を踏襲できないというのは、園長先生が小学校の校長先生を兼ねていることもあり、同じ方針を踏襲するのが難しいのだろうと感じている。

ただ、まず幼稚園児にとっても保護者にとっても、近くの幼稚園が良いと思う。都内の某私立附属幼稚園のように、云十万払って遠くから電車で通う、という形はあまり良いとは思えないので、公立でも私立でも、近く、子どもの教育をしっかりと、保護者の満足も得られる幼稚園があることが良いと思う。

建物の老朽化などが原因で、統合が必要であれば、公立の谷和原幼稚園と谷和原保育園が完全に幼保一体型こども園の形で建設されていながら、それが実施できていないのが、とても残念だなと思っている。先を見据えて、こども園制度が始まる前に建てた施設なのに。滑り台やブランコが幼稚園と保育園で二つつあると伺った。幼保一体型の施設なのに、中身は幼保一体型になっていないのが残念だ。

もう一つ、特別な配慮を要する子が非常につくばみらい市も増えている。その受け入れに公立が尽力してくれると助かる。公立もダメで、他もダメで入園を希望する保護者がいるが、十分な数の加配の先生はいなく、受け入れる人数にも限界がある。その点、公立幼稚園は定員が多いようなので、ぜひ検討してもらえないか。うちでは、特別支援が必要な子も必要のない子も一緒に生活すると互いに成長するので受け入れているが、ピンポイントの特別な指導はできない。保護者

	<p>には並行して療育教室などを受けてくださいとお願いして、集団生活の醍醐味の中で、共に育ち合うという環境を作る努力をしている。</p> <p>(3) 今後のスケジュール 事務局より説明</p> <p>8 閉会 午前11時40分</p>
<p>そ の 他</p>	<p>傍聴者 0名</p>